

『イン・トゥ・ザ・ワイルド』 原題 Into the Wild 2007



© MMVII by RIVER ROAD ENTERTAINMENT, LLC and PARAMOUNT VANTAGE, A Division of PARAMOUNT PICTURES CORPORATION. All Rights Reserved.

映画批評

『イン・トゥ・ザ・ワイルド』 原題:Into the Wild 2007

～アラスカの自然は容赦しない

塚田三千代（翻訳家・映画アナリスト）

© m.tsukada

本映画はショーン・ペン監督がクリスの手記で原作「荒野」を基に映画化し、10年の歳月をかけた映画化権を獲得して、撮影に取り組むショーン・ペン監督の執念がみえる。

た秀作である。1992年1月、クリスは一見無鉄砲で無謀に見えるが、実は用意周到な旅立の時を迎える。アラスカへ向けて最低限の必需品だけを携えて出発する。そして、アラスカの荒野の深奥で逃避や厭世とは無縁の、極めてポジティブでアクティブな自然との対峙の日々を送ることになる。

アラスカの自然は容赦しない。ライフルの扱い方や、撃ち殺した獲物のさばき方を知らなければ命取りになる。にもかかわらずクリスはそれに挑んだのだ。ストイックなまでに肉体を鍛え、精神力を培い、サバイバル方法を身に付けて臨み、すべて順調に時間が進んでいった。クリスは心身ともに快適であった。そして5月。持ち込んでいた食糧の米も残り少なくなった頃、そろそろ帰路を考える時が来ていた。しかし立ちはだかっていたのは、予想外の自然の罠だった_____。

1990年夏。アトランタのエモリー大学を卒業した主人公クリスは約束されたエリートコースに背を向けて自由の旅に出た。身辺整理し、貯金全額を慈善団体に寄付し、物質文明の象徴とも言える車を捨て、家族にも何も告げずに、アレクサンダー・スーパーランプ(tramp=さすらう)と名乗って、広大なアメリカを北へ南へと、さすらいの旅を続けた。

行く先々でさまざまな邂逅があった。流浪の民やアウトローすれすれの生き様を曝す、エリートとは無縁の、クリスの育った環境とは違う階層の人々。しかし皆一様に優しい眼差しでクリスを迎え入れた。二度と巡り合うことのない行きずりの出会いであっても、等身大で無欲に生きている者同士なら、偽りのない心の交流ができるのかもしれない。

若者にありがちな放浪癖と違うのは、クリスはすべてに完ぺき主義で、徹底して妥協がなく「あそび」がなかった。息が詰まりそうな閉塞感さえ漂っていた。結果的に一期一会になってしまった人々との出会いも、初めからそうなることがわかっていたように、短くも濃密な時間を過ごしている。

1991年、アウトサイダーたちが集まるスラブ・シティのコミュニティで、レイニとジャンに再会する。そこで出会った16歳の少女トレシーはクリスに惹かれていったが、クリスはトレシーに、まるで妹カリナにいうようにこうって、アラスカへ向かう。

When you want something in life,
you just gotta reach out and grab it.

1992年1月。

クリスはソルトン・シティでロン・フランツという老人にめぐりあう。ロンは仕事もせず野宿をしながら旅するクリスを不思議がるが、親しみもことさら感じた。ロンは身の上話を打ち明け、皮細工を教え、クリスはロンに山登りのハイキングを教える。心を分かち合えるようになり、「君を養子にしたい」とまで言い出すのだが、クリスのアラスカ行きを止めることはできなかった。

車で待つロンだったが、ジッとしていないでなんでもやって見なくちゃ…と、クリスに励まされて、岩へ登り着く。2人の眼下にソルトン・シティが広がる。

CHRIS: I'll miss you, too, Ron. But you're wrong if you think...
that the joy of life comes principally from human relationships.
God's placed it all around us. It's in everything. Anything we can experience.
People just need to change the way they look at those things.
RON: I'm gonna take stock of that.

幸せは分かち合ってはじめて実感できる。
Happiness is only real when shared.

ロンの申し出を断って、
1992年1月、クリスは、一見無鉄砲、無謀に見えて実は用意周到な旅立の時を迎えた。極限の勇氣と、最低限の必需品だけを携えて出発した。



【映画史リテラシー】

- ・ショーン・ペン監督 2008 年カンヌ国際映画祭コンペティション部門審査委員長
- © MMVII by RIVER ROAD ENTERTAINMENT, LLC and PARAMOUNT VANTAGE, A Division of PARAMOUNT PICTURES CORPORATION. All Rights Reserved.
- 原作:「荒野へ」ジョン・クラカワー(集英社刊) オリジナル・サウンドトラック／BMGジャパン

ジャーナリストで登山家のジョン・クラカワーが出来事を綿密に取材し、ノンフィクション「荒野へ(原題:Into The Wild)」を発表、ベストセラーとなった。これに感動したショーン・ペンが 10 年近くをかけて映画化権を獲得して映画化した。

【映画情報】

2008 年9月6日(土)より シャンテシネ、テアトルタイムズスクエアほか全国ロードショー

原作:「荒野へ」ジョン・クラカワー(集英社刊)

オリジナル・サウンドトラック／BMGジャパン

2007／アメリカ／35mm／148 分／シネマスコープ／ドルビーSRD／カラー

配給 スタイルジャム

脚本・監督・プロデューサー: ショーン・ペン

出演: エミール・ハーシュ、マーシャ・ゲイ・ハーデン、ウィリアム・ハート、ハル・ホルブルック、ジェナ・マローン、

ブライアン・ダーカー、キャサリン・キーナー、



© 2016 m.tsukada. All Rights Reserved.